

# ずっと・もっと プリズム -30th Anniv.-

記念ロゴマークが決定!  
1年間さまざまな形で発信していきます!

プリズムホール開館30周年  
プリズムホールは、  
八尾のまちに夢と感動を届けて30年。  
これまでずっと支えてくださり、  
ありがとうございます。  
これからもっと、  
多くの人々が輝く舞台へ  
心豊かになれる未来へ向けて  
歩んでいきます。

## あなたの人生がかがやく場所、プリズムホールへようこそ!

プリズムホールは八尾市制40周年となる昭和63(1988)年11月10日にオープンし、今年で30周年を迎えます。

開館当時は、バブル絶頂に向かうまただ中、時代を反映した有名アーティストの贅沢な舞台が数多く催されました。…たとえば、さだまさし、矢沢永吉、松山千春、沢田研二、ハウンドドッグ…など。今では懐かしくもあります。エンターテインメントだけでなく、海外から招聘されたバレエ、管弦楽にオペラ、歌舞伎、演劇、ミュージカル、落語などのハイカルチャーもきらびやかに催されました。それは豊かな財源で舞台を見せる時代のあり方でした。

その後バブルは終わり、プリズムホールは地域へ出て、もっと身近に感じてもらう催しを多くするようになりました。出張所をまわっての公演や、患者さんの気持ちを少しでも和らげようと病院にコンサートを届けたりなど、劇場や舞台との距離を縮める時代に入りました。

地域文化を発信する催しや、市民参加の催しは開館当初から継続してきました。吹奏楽、河内音頭、演劇のフェスティバルなど、地域の皆さんが企画・運営をし、工夫を凝らした舞台を創り上げてきました。これによりプリズムホールは、八尾の「私の劇場」として心に留めてもらうようになりました。また、当時、作品を興行主から買って上演するだけの劇場がほとんどであった時代としては、これら取り組みは画期的なことでした。

さらに時は移り、時代は変わってきました。  
今から約10年前、平成19年の国民生活白書は、



国民は物の豊かさよりも心の豊かさを求めるようになったと報じました。つながりの希薄さや人間関係のむずかしさを人々は感じていました。そういった時代背景に沿うようにプリズムホールの役割も変わってきました。

プリズムホールでは、劇場や芸術がもっと地域の人々と深く結びつくべきだと考えました。結びつくとは、劇場でできることを活かして地域の役に立つこと、例えば、学校の授業や部活の支援をしたり、一般の人にもプロの指導で朗読や演技を体験してもらったり、お餅つきのような身近な季節行事にも芸術家が参加したりなど、劇場が関わることで、その人の自己実現をお手伝いし、地域が活性化するようなことです。芸術家は、そんな簡単には関わってくれないものなのですが、それができるように、プリズムホールは日本を代表する2つの芸術団体、大阪フィルハーモニー交響楽団および文学座と「地域拠点契約」を結び、実現しました。今では、この関わり方はほかの催しでも応用し、子どもたちをお芝居にご招待した際に、俳優と稽古場を探検しながら一緒に遊んだり、モダンダンスの公演では、



「たくさん楽しい思い出を抱いてプリズムから家路へ…」 撮影：牧江 良祐

年齢・性別・障害の有無にかかわらず誰もがダンサーと舞台で踊ったり、芸術と色々な形で触れ合うことで、他では得られない生き生きとした素敵な思い出をつくってもらいました。

私は、劇場は単なる「芸術の殿堂」ではなく、人々の気持ちを解放し、心を輝かせる場所でないといけないと思っています。永らく舞台芸術の仕事に携わってきましたが、多くの方がプリズムホールで活動し、舞台をご覧になって、笑顔で生き生きと帰られる姿を見ました。そんな時、芸術には人間らしさを取り戻す機能があると実感します。それは、優れた鑑賞経験はもちろんのこと、俳優、演奏家など芸術家と触れあい、また参加者同士も交流することを通して、もっと双方向で、人間的なぬくもりのある、自分の意識をも変えうる機能です。非日常的な感動と人間同士の共感の中で、仮に日常で心がしぼんでいたとしても、プリズムホールに来ると豊かな気持ちを取り戻せるのだと思います。

このように、時代の役割を変遷してきたプリズムホールは、開館以来みなさまの愛情に包まれて30年経ちました。その歴史の中には、みなさまのかけがえない思い出のシーンがいっぱい詰まっています。この次の30年も、新たな時代に向けてプリズムホールはまた出発したいと思います。これから一層、プリズムホールは市民のみなさまの人生を輝かせ、共感する劇場へとシフトします。

プリズムホール館長 大久保充代



プリズムチャームプロダクションシタリーズ



リズム@プリズム

事業紹介は  
開いて中面へ!▶

Open!

Open!

今年のラインナップは  
◀こちら!